全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

http://www.shijuku.net

第28号（平成21年10月）

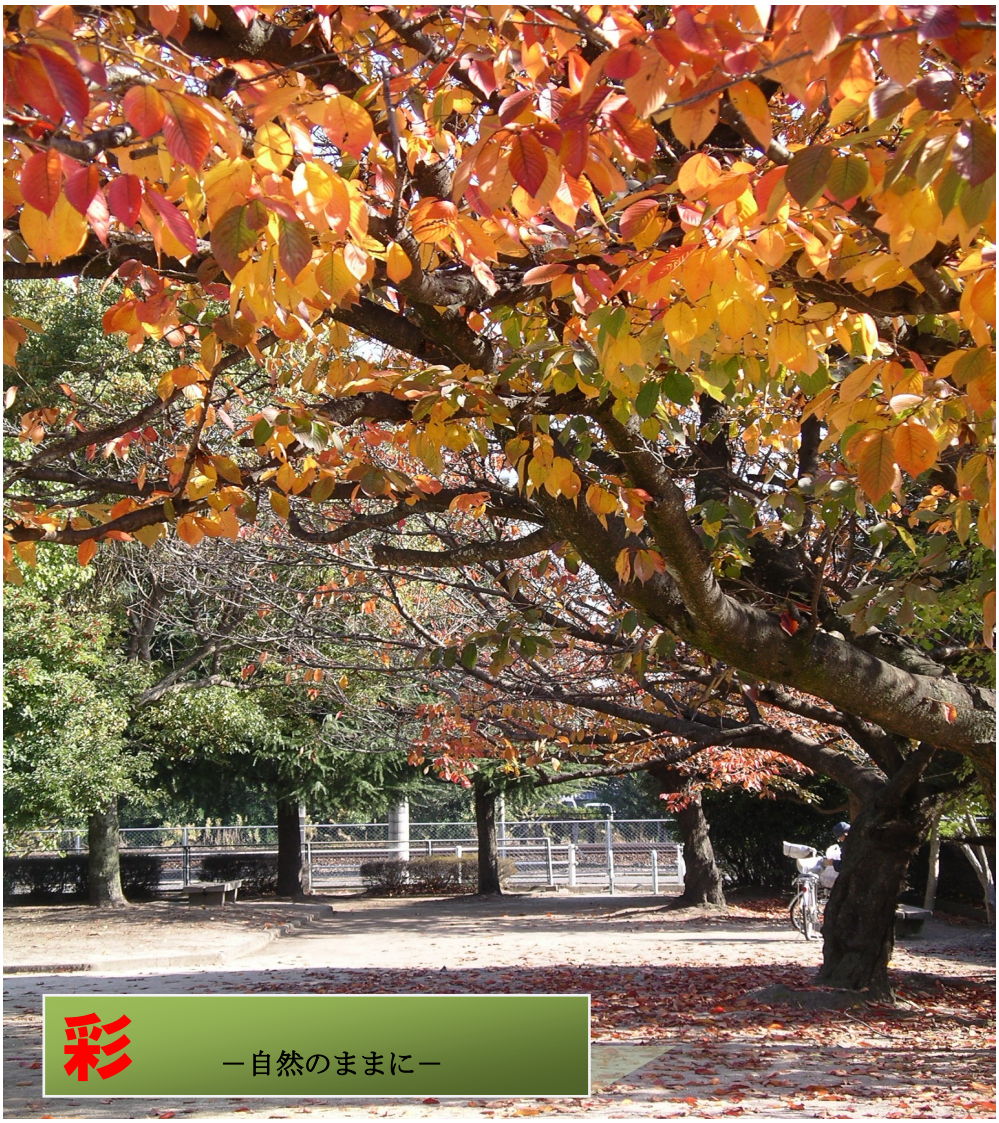


Photo by Joh Tadamichi

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局　石川　維雪
〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷5-32-31　学燈塾内
TEL:03-6680-6542　FAX:03-6368-5489
Mail:center-office@shijuku.net

理 事 長　鈴木　正之
TEL03-5743-7458
広報部長　大住　明敬
TEL048－957-8608

私塾ネット四国エリア　秋の研修会

日時：平成21年10月　4日　午前10時30分～午後7時30分
場所：香川県高松市　サンメッセ高松

さわやかな秋空の下、私塾ネット四国エリア秋の研修会は、参加者71名、センターから長江副理事長はじめ石川事務局長、田中研修部長、四国のお父さん山口名誉会長の協力の下、会員塾18塾、オープン参加4塾、協賛業者1社と予定していた方々全員の出席で無事、盛会に終えることが出来ました。谷村会長、鈴木理事長からも応援のメッセージをいただきありがとうございました。今回の研修会もいつもに増して情報交換・友情交換の場になったのではないでしょうか。遠路お忙しい中おいで頂いた皆さん、ほんとうにありがとうございました。

70名を超える参加者でうまった研修会場

［研修会］午前の部

司会：近藤誠介先生（文化の森スクール）

エリア代表の寺嶋先生より開会の挨拶に続き、石川センター事務局長より、「政権交代により教育界の今後の動きはまだ何も決まっていない」と、また、全国学習塾協会副会長の楠山先生より、「優秀で給料の安いアジアの人達との競争がこれからの子ども達に課せられる課題である」とのお言葉を頂きました。

〔基調講演〕「コーチングに関しての研究発表」

講師：牧　秀幸先生（啓真館）

とにかく、熱意ある発表ありがとうございました。平素の仕事ぶりや授業、はたまた保護者対応や愛社精神にいたるまで、牧先生のお人柄が伝わるすばらしいものでした。

一つ興味深い話がありましたのでご紹介いたします。問題です。成果を挙げるためには次のABどちらがより効果的でしょう。A）ゴールを設定→現状把握→行動　B）現状把握→ゴールを設定→行動　答えはA）とのこと。まず目標を持つことだそうです。生徒指導においては、まず志望校決定からということでしょうか。また、このコーチングというもの、職員のレベルを５段階に分けて低レベルの方にはティーチングを、高レベル方にはコーチングをとうまく使い分けていくとよいそうです。（レベル１：チームワーク重視しないかつ成果もあがらない→レベル５：チームワークを重視しつつ成果も相乗効果的に発揮する）

つまり、新入社員はビシビシ指導して（ティーチング）、仕事に慣れ成果が出て、かなり忙しくなってくる頃あたりからがコーチングの出番とのことです。そして最後に組織として最も重要なのは「リーダーのあり方」だそうです。各々の塾長先生方、奥の深い言葉ですね。胸に手を当てて「あり方（私見としては、会社の理念）」をはっきりと持って職員にいきわたるようにすることを再確認されてみてはいかがでしょうか。

［研修会］午後の部

司会：近藤誠介先生（文化の森スクール）

研修に先立って、名誉会長の山口先生から、塾の先生の使命の一つは、「子ども達には、自ら学ぶ姿勢をとらせることである。それは、子ども達の『教わる姿勢』が『学び考える姿勢』へと変わることである。」とのお言葉を頂きました。これは、塾人として根っこの部分ですね。

〔第１研修〕「塾人として運気を高めるために」

講師：湯口兼司先生（湯口塾）

まず、生徒に対しては、「笑顔と優しさで、『あなたを受け入れます』という態度が大切である」と強調されました。それは、一人一人の塾生と一生付き合うつもりで、今来ている生徒を本気で大切に出来れば結果は自ずとついてくるものであるということだということです。また、やる気のないからこそ塾に預けているのに、教える側が、「やる気がない」とかたづけてしまって

湯口先生の名調子が冴える

は生徒のより所がないと。その子を受け入れ、伴に学ぶ態度の中で子ども達のやる気や信頼が生まれ、素直な心を持たせることが出来れば、その子は伸びる子どもになると。

次に、塾で働く人に対しては、意識して行動することで「気づき」が生まれ、気づいたら行動することで新たな「気づき」生まれ…、それを繰り返すことでやがて、責任を他に求める態度が消えていくものだと注意されました。確かに、知らず知らずのうちに責任の所在を他に求めてしまっている場合も多々あるかと思われます。気をつけなければいけません。

さらに、印象に残ったのが、「誰もが一生懸命やっている。しかし、その度合いには、現役高３生と浪人生の大学受験ほどの差はあるものだ。」という言葉です。

最後に、「たゆまない努力こそが、その人の表に現れる全ての支えになっている」という言葉と、「逆境が人を育てるのではなく、逆境にならない手だてこそが人を育てるのだ」という言葉で締めくくられました。当たり前と思えることを当たり前にする大切さをまたまた認識させられました。大感謝です。

〔第２研修〕「算数・数学指導法(私塾実践同巧会)」

講師：十亀幸男先生（十亀塾）

困りました。この研修は実際聞かないと分からないです。発想の転換や算数・数学の楽しさを子ども達に伝えるために、「なぜ？」がいかに大切かが分かるように、図式やパワーポイントをふんだんに取り入れての研修でした。

発想の着眼点の例として、インド式の数学の着眼点は多項式の計算・因数分解の解説の着眼点に通じるものがあることを解説していただきました。何のことかお分かりにならないでしょうでしょ？是非是非、十亀先生のところへおいでいただき直接お尋ねになるか、「私塾実践同巧会」のメンバーになって下さい。「勉強っておもしろい！」って発想は探れば

熱意あふれる十亀先生の算数・数学講座

いくらでも見つかるものであることを認識させていただきました。

〔第３研修〕「塾未来を見据えて」

講師：原田真一先生（啓真館）

「未来とは予測するしかないものであって、不確定要素が多いものである」との言葉ではじまり、だからこそ、①理念の設定②目標の設定③目標の徹底追求が必要になるという内容の研修でした。

まず、どういう立場で塾を経営・運営するのかという自分の立ち位置を決めることで、明確なイメージを描くことが大切である。その理念がまず大切だ、と。

次に、人は足元を見ながら前進することは出来ないからこそ、向かう方向（目標）を定めなければならない。そして、それは、夢のあるもの（実

塾経営哲学を熱く語る原田先生

現困難なもの）である方が長続きするし、安全である。ただし、いつまでにやるかの期限を必ず決めることが必要である、と。

そして、目標を徹底追求することで、そのときの自分の立ち位置や目標を見失わないようにしなければならないし、継続することこそが大切である。また、徹底追求するからこそ後々問題が発生したときに、その原因が分かるものである、と。

いつもながらに、己に厳しい人の話でした。しかし、だからこそレジメの最後に、「この業界は、私には、ここしばらくが宝の山に見えている。（中略）楽しい仕事、楽しい生活、素晴らしい未来、真面目に予測したならば、この結論が常識である。」という言葉を書かれたのだと思います。そして、どんなときも頭の中の半分は他人のことを考えている。という思考こそが表に出る優しさと気遣いの元なのだと感じました。自塾のこと挙げ、思いの全て語っていただき、身が引き締る思いで聞き惚れてしまいました。感激です。

研修会の終わりに、総評を田中センター研修部長からいただき、長江副理事長の閉会の言葉で閉幕

となりました。皆さんお一人お一人の言葉が体中をめぐって明日の元気になる。そんな思いでいっぱいになる研修でした。

〔懇親会〕居酒屋「美味休心」にて

なんと湯口先生の教え子が経営されている店でした。さすがです。教え子の居酒屋さんまで多店舗展開に成功されているとは・・・。この時間の貴重さは、言うまでもなく個人面談。雑談の中にこそ、それぞれの塾経営者としての理念を垣間見ることが出来るのです。わずかにアルコールが入ればなおのこと、塾長ひとりひとりの強みも、弱みも、見えてきます。瀬戸の海の幸満載のディナーに舌鼓を打てばさらに口は軽く、言葉は弾んでいました。

当初は帰られるとお聞きしていた山口先生も最後までお付き合いいただき、次回はじっくり先生の塾の歴史をお話いただくとの原田先生のご提案をご快諾なさっていただきました。

最後にわざわざ東京から参加していただいた皆様、ご準備いただいた塾長、先生方本当にありがとうございました。紙面の都合で出来ないのですが、お一人ずつ名前を挙げて感謝の念を伝えたい気持ちでいっぱいです。

いつもながらではありますが、人に会うこと、話を聞くこと、知ること、確認することの大切さを改めて感じさせていただきました。僭越ながら、塾とは「塾の内外を問わず、人が人に教える場であり、伴に学び、認め合う場である。」そう結ばせていただきます。

山口名誉会長を囲んでなごやかな懇親に時間の経つのを忘れる

(文責：私塾ネット四国　小野昭、川口順次)

四国の皆様へ感謝をこめて

充実した研修に参加させていただきましてありがとうございました。エリア四国は人材の宝庫！　ということがよく分かりました。

寺嶋代表。朝早くから高松空港に車で出迎えに来ていただきましてありがとうございました。車の中でのお話で大体の流れが分かりました。

近藤先生。突然の指名にもかかわらず、見事な司会進行。人間力ですね。

牧先生。「コーチング」 短時間で分かりやすくまとまっていましたね。さぞや長時間かけて勉強されたことでしょう。すばらしい基調講演、感動でした。

湯口先生。縦横無尽・臨機応変　どのようにでもお話を展開できる。さすがですね。

十亀先生。数学の奥深さ、勉強になりました。数学アレルギーの生徒でも楽しく理解できそうですね。

原田先生。かみそりみたいに切れる方だな。との印象でした。でも懇親会のときは心から楽しんでらして、魅力にあふれた方ですね。直接お話できる日を楽しみにしております。

松田先生。アイスブレイクで先生と組んだのですが、質問攻めに会いましたね。血糖値心配です。
御身体ご自愛ください。私の年齢は内緒にしてください。

山田先生。細やかなお心遣いありがとうございました。香川に行って讃岐うどんを食べる暇がない！でも先生はお土産に用意してくれましたね。研修会・懇親会。先生や田村先生のおかげで和やかでした。

福富先生。懇親会場やホテルへの送迎、翌日、朝早く、空港まで送っていただき、ありがとうございました。車中、趣味の話などで盛り上がりました。楽しい時間でした。もう親友ですね。

競合しあうメンバーが仲良くまとまっているのは寺嶋先生や湯口先生のお力ですね。いろいろなことを学ばせていただきました。お話できなかった皆さん。今度の機会によろしくお願いいたします。本当に参加してよかった。すばらしい研修でした。

私塾ネットセンター副理事長　長江勝秋

理事長活動日誌

理事長　鈴木正之

進学相談会に出席して

学習塾と私学との関係は、生徒を紹介したり、生徒を紹介されたりするという関係だろうか？もちろん、学校を知った理由として、「学習塾の先生から勧められた」は上位にランクされる。我々学習塾も学校の情報（生活、授業、受験）がわからないと勧められない。したがって学校の情報を知る必要がある。私学も勧めてもらうためには、学校を知ってもらう必要がある。

９月１３日開催のＮＰＯ塾全協「私学相談会」。前年より来場者が少ないことは見てすぐ分かった。私学の先生方にお聞きしても「少ない」と言う。少ない原因は、①模試と同日、②インフルエンザ感染関連（感染の危惧、学校や学級閉鎖による外出禁止、中３の修学旅行が９月に延期になっていること）等考えられるが、他の説明会も例年より少ないということを考えると、はたして来場者が少ない理由はそれだけだろうか？不景気や公立高無料化等による私立離れ、公立志向も考えられるのではないか。

不景気の波は、景気の影響を受けにくい教育や医療にも及んでいる。学習塾や私学が進むべき方向を見極めるには、まず情報収集をすることだろう。政治や経済の動きを知ることは当然ながら、重要なのは保護者と生徒の考えを知ることだろう。又、自分のことはなかなか見えないものである。自分を映し出す鏡にお互い慣れるのではないか。そのために、一層学習塾と私学が情報交換をする必要性がある。

緊急人材支援事業の取り組み

社団法人全国学習塾協会と全国学習塾協同組合が「緊急人材育成支援事業」に取り組んでいる。これは、失業中の方々を訓練（講義・授業）するもので、６ヶ月で６００時間以上の訓練を受けると受講生は借入金も含め最高で１ヶ月２０万円受け取ることができ、訓練校も国から奨励金がもらえる。（※詳細はインターネット等でご確認下さい。）

第１陣として１０月から開講を目差し、東京からは学習塾４塾が申請をして募集を開始したのだ。しかし、受講生が集まらない。結局、東京で開講するのは私の所だけとなった。同時に申請をした他の３つの学習塾からも紹介していただいたにもかかわらず、受講生は６名、奨励金をもらっても赤字の可能性がある人数である。それでも開講に踏み切った理由の１つは、受講生のことを考えると、断ることができなかったことがある。受講生から話を聞くと、止めてはいけないという想いが強くなった。この事業は軽い気持ちではやれないと思う。６人の受講生は、３０代から６０代。大げさな言い方かもしれないが、「一人ひとりの人生を背負う覚悟」が無いとできないと思う。受講生の人数分の人生がある。その人生を受け入れることは容易ではない。受講生が多いほど我々の負担は大きくなる。それぞれの学習塾が受け入れられる人数、責任を持って指導できる人数で開講することをお勧めする。

この事業と学習塾の仕事との違いは『相手』である。この事業の相手は大人であることは当然あるのだが、一番の違いは、「生活」をかけているか、かけていないかということである。「生活」と言うことは人生であり命である。学習塾の子供達は不合格となっても少なくとも生活はできる。この事業の受講生は生活ができないこともある。

我々学習塾は政府からの依頼を受けたことがこの事業スタートのきっかけである。そして、奨励金が魅力的であり、多くの学習塾が色々な事情があり申請をされているが、生半可な気持ちではやっていただきたくないと思っている。多くの方々が夢と希望を持つ手助けをできるという点では、学習塾の仕事と同様であると思う。この事業に参入される方々には、それを喜びとして真摯に取り組んでいただくことを願う。

塾の日フェスティバル2009　in Hyougo

平成２１年１０月１１日日曜日に兵庫県尼崎市の「ポップインアミングホテル」にて塾の日フェスティバル２００９が開催されました。昨年東京で行われました式典よりは若干規模が小さいように感じましたが、インフルエンザが大流行している中、全国各地から社団法人全国学習塾協会の会員塾の塾長先生がお見えになっていらっしゃいました。

第１部は例年通り各表彰式が行われ、第２部では京都大学経済研究所所長の西村和男先生による「分数ができない大学生から１０年」という基調講演と、パネルディスカッションが行われました。参加されていた先生方は西村先生のお話を熱心に耳を傾け、パネルディスカッションも大いに盛り上がりました。

第２部終了後の懇親会には、私塾ネットからは鈴木正行理事長、仲野十和田関東代表、調布学園の佐藤先生、日米文化学院の武村先生（今後は本名の柳田でいくそうです）と私渡辺塾の渡辺の５名が参加しました。懇親会では先日私塾ネットに入会された大阪の杉山先生によるビンゴ大会が行われ、見事鈴木理事長と仲野代表のお２人が引き当てました。仲野先生のクジ運は正直恐ろしいものがあり、僕がご一緒させていただいたビンゴ等のクジでは過去４、５回引き当てられております。うらやましいかぎりです。

私塾ネット関東総務部　渡辺浩（渡辺塾）

塾主催イベント研究　その②　長野発　チャレンジ学院・勉強合宿

チャレンジ学院では、年間20回程合宿を行っております。霧ケ峰は標高1650m程ありますので、夏はすこぶる快適な合宿をすることができます。林間学校の周りには、キャンプ場・体育館・グラウンド・テニスコート・マレットゴルフ場・その他にも乗馬・パラグライダー・散策ルート・天然記念物の湿地帯等々、結構遊ぶところがあります。昼食などは高原の中で食べるのは最高の贅沢だと勝手に思っております。

合宿所のある霧ケ峰高原は信州屈指の景勝地。七島八島湿原。

宿舎内をご紹介しますと、和室が12室、大広間1室、約50名まで収容が可能です。チャレンジ名物「お先デスマッチ」という催しがあるんですが、生徒も先生も夢中になるんですね。内容は簡単で、各部屋に備え付けの問題を正解した者だけが、「お先に」と皆にあいさつをして次の部屋に行き、最後の部屋まで到達すると表彰されるものなのです。「孔子の間」を出発して、「卑弥呼の間」、そして「道長」・「頼朝」・「尊氏」・「信長」・「秀吉」・「家康」・「孔子」へと移動するんですね。子どもたちの心の中には、焦りとメンツと快感が入り混じって個性むき出しの競争になります。そんな姿をじっくり観察しながら子どもと相対する事の喜び、教師冥利に尽きます。

サソリ座の心臓が爆発！？

8月の最初に、第480回サマースペシャル、小学生合宿を開校いたしました。約20名の参加者が天体教室と理科実験に取り組みまして、普段では見られない子供の表情に接する事ができました。一橋大学名誉教授、中嶋浩一先生による天体観測が大変刺激的でした。過去に爆発した星の様子が映し出されると“オォー”とどよめきがあがりました。夜の高原に出て、滅多に見られないドーナツ星雲を観測した時の子どもの表情もまた、イキイキとしたのを覚えています。

引き続き行われた理科実験では、アイスキャンディー作りとペットボール作り、錯視、摩擦体験を楽しみました。そのあと、中島先生のご提案で諏訪湖を一望できる高台まで足を運び、自然と触れ合いながら様々なものが観察できました。感謝です。

トータル820分！

次に行われた中1・2合宿では、トップ校を狙うための基礎徹底学習が820分。先ほど述べた「お先デスマッチ」では、英語で競い合う「ソフトクリーム争奪」が好評なんですね。どうやら、勉強の途中で行われた楽しいイベントが一番嬉しいことのようでした。生徒の声は「もっとたくさんやってほしい！」とそんな感想が。次に評判だったのは勉強を頑張った後のバーベキュー、中嶋先生を交え火起こしや調理、片付けも一緒になって楽しんでおりました。

中嶋先生も高原でのバーベキューに舌鼓

Most Valuable Studentは誰か？

お盆の中3合宿の目玉はMVS（最優秀生徒）争奪戦です。Vポイントというものがありまして、勉強面、生活面が良かった時にポイントをもらえる仕組みなんですね。「東日本選手権チャンピオンには100ポイント」とか「元気の良いあいさつには10ポイント」とかいう具合に、ですね。そしてお盆にはやっぱり“肝だめし大会”これも毎年大人気でし

た。ちなみに、中3合宿はありがたいことに、ほとんど“満員御礼”でした。

静かな勉強空間で

8月最後の高校生合宿の特徴は、“洗練された学習環境を作ろう”をモットーに、TVなどで集中を乱すことのない静かな勉強環境を作ってあげることでした。無駄ひとつないシーンと静かな中で、一心不乱に学ぶ姿は、思わず鳥肌が立つようなそんな凄みを覚えます。さすがに休憩は賑やかで、36連発花火はとても楽しいものになったようです。

最後に

子どもたちは、信州の自然の中で自分の才能を見事に開花していきます。美しい草花を見ながらきれいな心になります。おいしい空気を吸って、脳が活性化します。こんな自然の中では勉強も遊びも思う存分個性を発揮することが可能となりました。次の合宿は第486回目です。今まで随分沢山の生徒と合宿でふれあい、子どもの持つ可能性や人間の素晴らしさを教えてもらったような気がします。子どもってすごい、こんな素晴らしい子どもに囲まれて教育できる塾というのがますます好きになっております。

中部エリア代表
チャレンジ学院　松本　紀行

エリア関東懇親旅行「熱海騒動記」

平成２１年９月６日日曜日、私塾ネット関東主催の宿泊旅行が行われました。熱海に行くのは昨年に続き２回目で、どうしても熱海に行って、手作りの料理を作りたい？食べたい？という意見が多く出たことから今回も熱海に決定いたしました。交通手段はいつもの通りマイクロバスを貸し切って、仲野代表自らの運転で向かいました。車中では、早くも小宴会が始まり、お酒とつまみを両手に賑やかなムードで盛り上がりました。最初に立ち寄ったのは、真鶴漁港。ここで、夕食の食材となる魚介類を仕入れ（これがまた安いのなんのって）熱海駅に向かいました。熱海駅で碇・玉城両大先生と合流し、貸別荘に入りました。今年の別荘は昨年よりも大きくて、

手作り料理とうまい酒で今夜も絶好調。

地下１階、地上２階の３階建で、お風呂は温泉がひいてある大浴場で、とても気持ちがよかったです。お待ちかねの夕食です。今年も宮脇シェフ、碇シェフ、谷村シェフの『関東三鉄人』による華麗なる創作ショー。刺身、寿司、潮汁、チャンプルー等々、本当にプロ顔負けの腕前でおいしかったです。夕食後はこれもまた恒例のギター生演奏によるカラオケ大会。中村直人先生が愛用のギターを持参し、全員で懐メロを合唱しました。一番喜んでいらっしゃったのは、初参加の玉城先生ではないでしょうか、いつまでもマイクを握り締めていらっしゃいました。宴会後はやはり塾の先生、教育談議に花を咲かせていらっしゃいました。どういうわけか、私（渡辺塾渡辺浩）と仲野代表はその時話されていた内容が思い出せません？？？

そんなこんなで楽しかった一泊旅行もあっという間に終わり、翌日は各先生方が自塾の戦場へと戻って行かれたことは書くまでもありませんね。

文責　私塾ネット関東総務部
渡辺塾　渡辺浩

私塾ネット関東・私学情報交換会開かれる

エリア関東・私学情報部部長
桂馬辰尚（桂馬ゼミナール）

１０月４日、アルカディア市ヶ谷（私学会館）において５校６名の私学の先生方のご出席を頂き、私学情報交換会が開かれました。

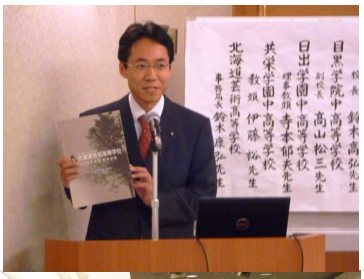
当日は、朝から曇りの空模様でしたが、午後から晴れ間も見え多くの先生方のご参加を頂きました。

今回ご出席の先生は、北海道芸術高等学校事務局長・鈴木康弘先生、目黒学院中学高等学校副校長・高山松三先生、同入試対策委員阿部幸彦先生、日出学園中学高等学校理事教頭・寺本郁夫先生、共栄学園中学高等学校教頭・伊藤裕先生、専修大学附属高等学校校長・鈴木高弘先生の方々でした。

エリア関東仲野代表の開会挨拶

第一部の情報交換会では、まず各学校の先生方に２０分の時間で学校の最新の情報をご説明頂きますが、入試の説明でも学校の特色でも、その内容に決まりはなく、先生方の自由なご説明をお願いしており、その先生方のお人柄を浮き彫りにしようという企画で行っております。

トップバッターの北海道芸術高校の鈴木先生は、１９６４年東京オリンピックの年、千葉の木更津でお生まれになり、民間企業勤務の傍ら、



アメリカやスリランカなどを旅行し、趣味の旅行体験から旅行の資格を取り，専門学校で４年間教えたことが何より楽しかったと笑顔で話されました。又、株式会社立の高等学校設立にあたり奔走された経験や、北海道清水町の住民に受け入れられるまでの苦労話など話されました。

２番手の目黒学院の高山先生は、平成７年に中高一貫をスタートさせた経緯、キャリアデザインを前面に国際性豊かな人材の育成、そして先生方が一丸となって広報活動し、手作りの説明会で中学入試の応募者も少しずつ増えてきたという苦労話をされました。

昔、数学が好きで塾を開いて楽しかった思い出を話され、優しい先生のお人柄が垣間見られました。又、最後に同校阿部先生にバトンタッチされ、ご自身の紹介を兼ねて教育への熱い思いを話されました。

３番手の日出学園の寺本先生は、映画と音楽が好きで、学生時代評論家になろうとしたお話や、日出学園に奉職され２８年、併設の通信制の生徒さんに日々接する中での苦労話をされました。後半は、ご趣味の映画の話に戻られ、映画雑誌に映画評論を投稿し掲載された体験などを話され、先生の映画や音楽への造詣の深さに感心させられました。

４番手の共栄学園の伊藤先生は、４０年近い共栄学園での経験を笑いを交えて話されました。北海道宗谷峠近くでお生まれになり、３才で高知へ移られ、その後東京市ヶ谷での留年しそうだった大学生活、又共栄学園に奉職された頃の思い出、奥様との出会いなど……会場は終始笑いに包まれました。共栄学園をこよなく愛する先生のお姿が強く印象に残りました。

ラストの専修大附属の鈴木先生は、都立高校から私立高校の校長に着任して３年目を迎えるまで

の、ご自身の教員人生の足跡を話されました。テンポの速いユーモラスな先生のお話は、会場に多くの笑いを誘いました。

先生が教育困難校と言われた江東区・足立区にある都立高校の改革に携わって来られたご苦労は計り知れないと思いますが、そんな辛かった体験を笑いで吹き飛ばすお話は、先生のお人柄だと思います。城東高校時代、名門両国高校をライバルとしてがんばり、東大２名の合格者を出したり、体調を崩しながらも、小笠原高校で４年間大学進学率を伸ばそうとした体験など……先生の教員としての人生は、２０分ではとても語り尽くせるものではありませんでした。

先生方がこの会でお話頂くのもご縁、また教師になられたのもご縁があったからこそであり、ご説明頂いた先生方の「人となり」が短い２０分間のご説明の中で浮き彫りになったのではと思います。

今回は昭和６３年にAIM学習セミナーで２校の先生方をお招きして以来、２７回目になります。

第一部の説明会が終了後、第二部の懇親会が同じアルカディア５Fの「大雪」で開かれました。恒例の懇親会は、私塾ネット理事長鈴木先生の挨拶で始まり、私学を代表して専修大附属の鈴木校長の乾杯で楽しい歓談の時がスタート。今回は、塾側４０名私学側も３３校４５名を超える盛大な会となりました。

私塾ネット関東・総務部長渡辺浩先生の司会進行、仲野代表のカメラマンで始まった今回の懇親会では、出席者数が最多人数のためテーブルごとのスピーチも１分から３０秒に短くなり、それでも短い時間の中で各先生方の出身地やご趣味の話に多くの先生方が耳を傾けておられました。

そして今回のサプライズ企画では、お子様が誕生された中村庸彦先生と、長年に渡り進学教室を

鈴木理事長が勇退をされる尾澤先生（尾澤進学教室･金町）に花束を贈呈しこれまでのご尽力を慰労する。

中村学院（川崎）の四代目の誕生の報告がなされ大喝采。

経営されて来られた「私塾ネットのお母さん」こと尾沢知子先生に鈴木理事長から花束の贈呈があり、会場に多くの拍手が響き渡りました。尾沢先生の教室は、この情報交換会の会場に何度か使わせて頂き、お世話になりました。今回で引退されるということで、とても残念です。これからの先生の御多幸をお祈り申し上げます。

ラストは恒例の私塾ネットの今年度の活動がスライドで紹介され、又行われたばかりの一部の情報交換会の様子も披露されました。

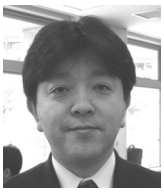
場面場面の一コマにほのぼのとした私塾ネットの暖かさを感じました。

私塾ネットの良さ「１人はみんなのために、みんなは１人のために……」。会員同士が家族的な雰囲気の中で大いに言いたいことを語り合う、すばらしい会で終わる事ができました。

二次会も市ヶ谷駅近くの居酒屋で行われ、今回は千代田女学園中学高等学校菅原校長先生が幹事を担当され、お世話になりました。そのためか私学の先生が５名も残られ、実に楽しいひと時を過ごす事ができました。

今年の私学情報交換会も、他団体の進学相談会と日程が同じになり、参加された先生方にご不便をおかけしました。ご多忙の中、ご出席頂きました先生方に最後に御礼申し上げます。ありがとうございました。

エリア通信



エリア東北　代表　畑山　篤
（青森県・志学塾）

『ゆとり教育世代の〇〇が大変らしい!?』

この〇〇には何を入れたらよいでしょう。どうも「学力」どころの話ではなくなってきていませんか。最近、来塾する業者さん達から「新入社員をどうしたらいいのか…」というつぶやきを耳にすることが増えたような気がします。

塾でも、中学生の男子が泣く。怒鳴ったわけでもなく、もちろんたたいたわけでもないのに。運動部の体格のいい子が涙を浮かべる。そんな傾向はありませんか。「いつまでにやる？」「えー…、今週中には！」「よし！では来週の月曜日まで待ってやるよ。」「はい。」

…翌週の月曜日。「塾長、あの～すみません。全部はやれませんでした…」「なぜ？」「…」「どうする？」「えー…、あっ今週中には！」「はぁ？俺にはわからないぞ。先週出来なかったものが、今週できる理由が!!今週ならできる理由は何かある？」「…。…。」「あっわかった！きっと睡魔が襲ったんだな。眼に砂を入れられたかのように目が開けられない…そんな恐ろしい睡魔にやられたんだな！塾長との約束を守らない理由はそのくらいの話しだろ？」「…いいえ…。…。」「先週は三日月で、今週なら満月です！だから今週です！ぐらいの理由があるんだろう!?」とたたみかけたその時、中学３年の陸上部のこの男の子は「いいえ！めんどうくさかっただけで…」と真面目な表情で。

嘘は言ってません！と訴えるようなそのピュアな態度にとても違和感を感じました。もし、社会に出て商品を配達する仕事で、全部配達せずに社に戻り、理由を聞かれたその時に「はい…めんどうくさかっただけです。」他には理由はありませんと言わんばかりに素直な表情で応えられたら…。しかも、あっちにも、こっちにも。

教育は子育ての段階で、子どもの"やらない理由"、つまり口実を見破り、そのような話は通用しないという仕付けをすべきなのは基本中の基本ではないのか。教育は知識を教える前に学ぶ習慣や取り組む姿勢をこそ身につけさせるべきではないのか…と、誰に言えばいいのかわからずに、最近始めたTwitter（http://twitter.com/appeko）につぶやいています。

さて、お知らせです。私塾ネット東北では年末に向けて、青森県八戸市に於いて、教育イベントを３日間行います。「ゆとり教育世代の家庭教育が大変らしい!?」「ゆとり教育世代の進路教育が大変らし!?」「ゆとり教育世代の地域教育が大変らしい!?」とォーラムや座談会を企画しました。細部は実行委員会(11/3(祝)仙台市アエル13時～)で。全国の皆さまのお越しをお待ちしております。

【１１月２８日(土)】
「'09不登校フォーラムin八戸」
【１１月２９日(日)】
「2009最新！高校入試説明会in八戸」Part１
【１２月１２日(土)】
「2009最新！高校入試説明会in八戸」Part２
会場は八戸市ラピアホール他。お問い合せは東北エリア事務局0120-861-419まで。

エリア関東　代表　仲野十和田
（東京都・ナカジュク）

１０月４日（日）、アルカディア市ヶ谷にて、私塾ネット関東主催の『私学情報交換会』が行われました。桂馬情報部長をはじめ、会員の皆様のご協力により、私塾ネットらしい和やかな会が催されました。参加いただいた、私学の皆様にも心より感謝申し上げます。さて、当日の様子は報告があると思いますので、ここでは触れませんが、実は今回参加されていた方の中で、約７年前に協賛団体である進路指導研究会（平松亨代表）の定例会で訪問させていただいた学校の校長先生がいらっしゃいました。当時は、都立足立新田高校の校長で、就任したときは、都内で屈指の教育困難校。しかし、その３年後には学区でトップクラスの倍率を出す学校にまでされた実績があります。あ訪問してお話を伺ったとき、最も衝撃的だったのが、「この学校には多額の授業料未納があった。教育にはお金がかかるということを、一人ひとりの親と話し、親の意識から変えていき、ほとんどの授業料を回収した。」という言葉。その他、地域を巻き込んだ学校活動を行ったり、地域に生徒を送り込んだりと、今まで社会で見放されていたのが、認められるといった具合に、地域の方々と生徒達の意識をどんどん変えていかれました。

その方が今回、専修大学付属高等学校の校長として参加してくださった、鈴木高弘先生です。

（研修会終了後）

仲野「もっと話を聴きたいので、来月研修会を先生の学校でやらせてもらっていいですか？」
鈴木校長「来てください。今日話せなかった話がありますから」
仲野「テーマは何にしましょう？」
鈴木校長（少し考えて…）「『都立高校改革はならず』というのはどうでしょう？」
ということで、とんとん拍子にきまり、１１月１２日（木）の定例・研修会は専大付属さんにお邪魔することになりました。
『知らない公立校』を覗けると思います。
きっと面白いお話が聴けると思いますので、全国の

エリアの方、是非お越しください。
ご希望でしたら、平日の東京をご案内いたします（笑）。

エリア中国　代表　北川健治
(広島県・栄光プレップ)

私塾ネット中国エリアは9月10日、10時より、恒例の定例会を広島市のホテルニューヒロデンで実施いたしました。夏期講習会明けの定例会であったため、各塾の講習会の運営状況の報告が活発に行われるともにエリア内の中学受験、高校受験の情報交換も行われました。また、11月の忘年会研修会について、実施大綱が発表されました。今年は家族の絆がキーワードで広島プリンスホテルで開催されます。関東エリアのニューイヤーパーティーを参考にさせていただいて日ごろお世話になっている塾長とその奥様のための企画です。当日は城先生肝いりの地元の若い女性ミュージシャングループ、ムチャチョスのプチコンサートを特別ゲストとして招くことになっています。（次回にその内容を報告いたします）次に、直近のインフルエンザ対策の各塾の取り組みにも特別に時間を割いて報告がなされました。最後に、今回の定例会以降、私塾ネット中国はエリア発足時以来よりのびのびとなっていましたエリア運営の明文化に取り組むことになりました。エリア活動を強力に推進させていくための取り組みです。今年中に細部を調整し、センターの役員の先生のご指導を仰ぎながら本年度中に最終的に完成する運びです。

エリア四国　代表　寺嶋謙次
（香川県・学習院セミナー）

先日、地元の公立中学でキャリア教育の一貫として「君たちは地域の宝物」と題しての講演の企画運営の機会がありました。今の時代、自分の将来の夢、希望が持てていない子供たちが多いといわれています。講演の内容は子供たちに夢、目標を持たすことを目的に我々大人の職業感を少しでも伝えることによって、一人でも多くの子供たちに夢、目標を持ってもらうようにすることです。

水曜日の5時間目(給食後の睡魔が襲ってくる時間帯・・・ちなみに当日学校給食を約35年ぶりにいただきました。献立はカレーでしたが、味のほうは・・・・・)の時間に4クラス同時に4人の講師が講演を行いました。話しを聞く生徒たちを見ていて感じたことなのですが、例えば、あるクラスの生徒たちは講演者の話を食い入るように聞き、寝ている生徒はほとんどいなく、そのうえメモまで取っている生徒がいたのに対して、他のクラスでは窓の外をボーッと見ている生徒や机にうずくまって寝ている生徒が何人もいたような状態でした。

その光景を見て改めて考えさせられました。授業を受けているときの生徒たちの取り組む姿勢はわれわれ指導者側に大きな責任があることを再認識させられました。授業中におしゃべりしたり、寝ている生徒など授業に集中できていない理由の多くは我々の授業が生徒を引き付ける魅力のない面白くない授業をしているからだと・・・。　数年前までは授業中に寝ている生徒、隣の子とおしゃべりをして指導者の話をまったく聞いていない生徒等に腹を立てて叱っていた自分を思い出すとなんとなく恥ずかしくなってきました。

JAC千葉学習塾協同組合＆私塾ネット関東　特別研修会のご案内

明日から使える教務スキルや塾運営のヒントを見つけにいらして下さい。

今年6月に私塾ネット関東主催・千葉学習塾協同組合（JAC）協力での初めてのコラボ企画「若手職員・時間講師のスキルアップを目的とした研修会」を実施いたしました。今回はJAC主催・私塾ネット関東が協力という形で「特別研修会」を開催いたします。詳細は下記の通りです。この研修会は千葉県中小企業団体中央会が研修費の一部を負担するため、両団体に加盟している先生方は格安の参加費用で塾運営スキルを学ぶことができます。

開催日　平成21年12月13日(日)
午後12時30分～午後4時50分
場　所　『船橋グランドホテル』
JR線『船橋駅』より徒歩3分
対象　塾長・専任講師・学年主任レベルの時間講師
（今回は塾経営を考える立場の中級以上の先生方を対象とした内容ですが、向上心あふれる若手講師も歓迎。）

テーマ1「教育コーチングの基本スキルで講師が変わる！生徒が変わる！保護者が変わる！」
講演：仲野十和田先生
（私塾ネット関東代表）

テーマ2「生徒とともに成長し、保護者から感謝される塾づくり（中級編）」
～成績大幅アップ＆退塾者ゼロを生み出す熱きマネージメント～
講演：佐久田昌知先生
（千葉学習塾協同組合副理事長）

費　用　研修会　2,000円
研修会＆懇親会　7,000円（塾長）
4,000円（講師）
問合せ　私塾ネット関東総務部　渡辺浩
℡03-3967-5420
（詳細は別紙案内書をご覧ください）

広ひろば場　このページは会員の皆さんの投稿で作るページです。原稿は編集の谷村　shikot@aim-net.co.jpまで。

人生の心　その指針は教育だ

石田　治正（名誉会員・英進学院）

人は言葉によって磨かれる。さらに家風は家庭特有の生活形式やおきて、習わしで子供の性格は親がつくる。私は家庭環境が子供の性格を作ったと思う。先月わが家の歴史を回想する先祖の古文書を整理したときに手元にあった文章が見つかった。

よい花を咲かせ、よい実を得ようとするには、先ず、よい土地を作り、その上に種をまく。さらに成長過程で冠水や肥料をたゆまぬ。行き届いた管理によって初めて見事な花や実がなる。子育ても同様で、しつけの場として家庭を立派に整えることが先決で親子は互いにいつくしみ合うことだ。

言葉には力があり魔力をもっている。また人生は充実、至福を感じ情熱を燃え上がらせる。老いるとは気力、体力、美姿を失いつつある。しかし、精神力の充実が「生」を支えている。日本は世界最大の長寿国である。

先の太平戦争から６４年が過ぎ去り、原爆の惨禍を後生に伝える語り部も老齢化して講演会も消えつつあるか、私は核廃絶は人類の意志として恒久平和を語り継いでいる。その実施校は平成１７年以降、次の学校である。

平成１７年：本郷中、八雲学園、淑徳学園、足立学園、正則学園、淑徳巣鴨、（以下区立）立石中、東金町中、北野小、青戸中

平成１８年：帝京中、関東第一高、北豊島中、東京聖徳学園、和洋九段中、跡見学園、十文字中、足立学園、（以下区立）水元中、新宿中

平成１９年：駒込学園、聖学院、本郷高校、足立学園、（以下区立）中青戸小、南奥戸小、綾瀬小

平成２０年：頌栄女子学院、（以下区立）東柴又小、宝木塚小、清和小

平成２１年：千葉商科大付高、

（以下区立）小松南小

この講話で注目されていたもの

戦争で殉死した人々の歌集は日本古来の文芸形式の中に凝縮された心情が表れている。

（１）「身は消えて姿　この世に無いけれど　魂残りて撃ちてし止まん」

昭和２０年７月　神風特攻隊　川尻　勉氏

（２）「朝つゆに命たえたる兵１人　木陰に据えて　日中をさびしき」

昭和１９年２月　硫黄島玉砕　折口春洋氏

（３）「君のため捨つる命は惜しまねど　心にかかる　峯のむら雲」

昭和１９年６月　ニューギニア戦死　小野正明氏

（４）「国民の痛む心を思ひては　散りても足らぬ　我が心かな」

昭和２２年１０月　Ａ級戦犯　巣鴨の獄中で

元首相　東條英機氏

誌上句会　第一回

白壁も　茜に染まる　柿の里　　谷村志厚

秋深む　風呂にひびける　九九の声

新米は　元気な叔母の　便りかな　　長江勝秋

十和田湖の　水面彩る　紅葉かな

万葉碑　鈴なりの柿　ついをなし　　梶原賢治

曇天の　音吸い尽くし　黄菊かな

谷村先生の発案で決まりました、私塾ネット「誌上句会」です。これからも多くの先生方のご投句を願っております。三作をよみながら「川合玉堂」の風景画を思い出しました。「白壁も　茜に染まる　柿の里」は、そのまま玉堂のテーマであり、農家の勤勉な老婦人もテーマである。

いい掛け軸を見たような気分になりました。

谷村志厚先生、長江勝秋先生ご投句有難うございます。これを機会に、俳句に関しては格別な伝統のある四国のメンバーの先生方をはじめ、多くの先生方の投句をお待ちしております。

選者　梶原賢治（私塾ネット副理事長）

編集部からお願い

句会への投句をお願いします。次号は2月初旬発刊ですので、新年または春の季語でお一人四句までとします。投稿はメールshikot@aim-net.co.jo またはＦＡＸ047-368-2189　谷村宛、締切は一月二〇日です。

研修会 in Sapporo 緊急レポート

10月25日(日)　札幌進学教室

昨年は雪の札幌、今年は雨の札幌でした。昨年より１週間早い開催と言うことが、雪と雨の違いだったかも知れません。さて、天気は悪いが気分は良いのが札幌です。旨いものを食べきれないほど食べました。食べて飲んで唄ってと最後は大いに盛り上がりました。

もちろん、研修もしました。私の方からは「親子のコミュニケーション」と言う題名で４０分ほど話をさせていただきました。準備不足で、自分自身がストレスを感じる話しになってしまい大いに反省しています。皆さんが、こちらの対応次第で、相手（子）の態度が変わっていくこと、話を引き出し感情を理解し感情を伝えることの大切さを知ってもらえたなら幸いと思います。

北海道の塾の先生方、私学の先生方とも話が出来ました。東京と同じで、私学が良くなることで教育が良くなる。逆に教育を良くするためには、私学の頑張りしかないのではないかと思いました。

北海道の仲間の和は広まり、まとまりが強くなっていることも感じました。人との出会いはすばらしいですね。入江先生ありがとうございました。

報告：鈴木正之（センター理事長）

１０月２５日（日）１５：３０～、　札幌進学教室（入江昌之先生塾舎）にて、昨年に引き続き研修会が行われました。２週間前に入江先生とお会いしたときに、参加人数をお伺いしたら、「これから集めるんだよ」と…。「まー、６，７人の会かな？」と思いきや、１８名が参加する研修会。入江先生の求心力の強さを感じました。私からは、コーチングをテーマとしたお話をさせていただきました。

コーチングとは　②傾聴　③質問と詰問　④承認

さあ、第２部は『北海道の味覚研修』実はこちらが目的で集まっているのではないでしょうか？日本語には「旨い」という言葉しかないので、このことばを使うしかないのですが、とにかく「旨い！」。当日参加していただいた、小樽小林進学塾の小林昌宜先生が私塾ネットに入会していただけるかも…。「私塾ネットは、組織的でなくていい」と、お褒めをいただきました。とても素敵な先生です。

入江先生と高橋先生のご配慮で、いつもながらに楽しい研修ができました。ありがとうございます。あと、２次会の盛り上がりはすごかったです。恐るべし北海道！！

報告：仲野十和田（エリア関東代表）

渉外部報告

渉外部部長・佐藤勇治

1　全日本学習塾連絡会議

1、第91回　全日本学習塾連絡会議
　第30回　私立中高進学相談会　第2回実行委員会
　(1)日時:9月3日(木)9:45～12:00
　(2)会場:アットビジネスセンター2F
　(3)出席者:24名
　(4)内容:①9:45～10:00
　　第16回全日本学習塾連絡会議「世話人会」
　　②10:00～10:40
　　第30回私立中高進進学相談会(担当＝NPO塾全協進学対策局長稲葉秀雄)
　　当日の役割分担、動員のお願い他
　　③10:40～12:00第91回全日本学習塾連絡会議(担当＝事務局長佐藤勇治)
　　・各団体の行事予定発表、「学習塾の歴史・百年史～私塾団体五十年史～」について

2、第17回全日本学習塾連絡会議「世話人会」
　(1)日時:10月15日(木)10:00～12:00
　(2)会場:自由学園明日館(みょうにちかん)1925号
　　豊島区西池袋2-31-3(JR池袋駅メトロポリタンロ)
　(3)世話人8名
　(4)内容:①学習塾の歴史百年史～私塾団体五十年史～」の進行状況の説明
　　②12月6日(日)第92回全日本学習塾連絡会議への最終原案検討

2　社団法人全国学習塾協会

1、塾の日フェスティバル　in ひょうご
　(1)日時:10月11日(日)13:00～20:00
　(2)会場:ホテル「ポップイン」アミング
　(3)参加者:第1部/第2部(13:00～17:30)200名
　　第3部　懇親交流会(18:00～20:00)130名
　(4)内容:第1部　塾の日記念式典―会長・ご来賓祝辞、永年勤続職員及び塾生表彰、読書作文コンクール表彰

第2部　基調講演　講師西村和雄先生
（京都大学経済研究所所長・教授）
「分数ができない大学生から10年」
・パネルディスカッション
テーマ「学力が危ない」
パネリスト　西村和雄氏
和田孫博氏
（灘中学高等学校校長）
須原秀和氏
（須原英数教室塾長）
コーデイネーター　祖父江準氏
（全国学習塾協会理事）

第3部　懇親交流会　私立学校、教育関連企業、学習塾団体役員、塾長、職員など130名が参加し盛大な祝宴になりました。私塾ネットからは鈴木理事長、仲野関東代表、渡辺総務部長、中村先生、入江先生、畑山先生、安藤先生、佐藤渉外部長ほか多くの先生方が参加した。

3　NPO法人学習塾全国連合協議会

1、第30回　私立中高進学相談会
（1）日時：9月13日（日）11：00～15：30
（2）会場：新宿NSビル大展示場（私立参加校140校）
（3）参加者：2700名（インフルエンザの影響で昨年より少なかったが盛会であった。）
（4）内容：朝日新聞社後援、私学の先生方から直接お話が聞ける中高入試なんでも相談コーナー、特別セミナー、塾の先生方による相談コーナー

2、第35回　NPO塾全協全国研修大会
（1）時：11月3日（火）13：00～21：30
（2）会場：メルパルク京都（JR京都駅徒歩2分）
（3）内容：第1部基調講演　ピーター・フランクル氏
「21世紀に羽ばたくための学習法」
第2部全国パラボラセミナー「全国の会員塾塾長が発する各地域の教育情報」
第3部懇親会

4　東京私塾協同組合

1、親と子の「私立・都立中学高校受験相談会」
（1）日時：10月4日（日）13：30～16：30
（2）会場：ホテルグランドパレス「ダイヤモンドルーム」
（3）参加者：800名（私立、都立、国立校137校参加）
（4）内容：私立、都立、国立の学校の先生方と塾の先生たちが、丁寧に正しい学校選びを教えてくれる合同進学説明会

2、塾団体合同忘年会
（1）日時：12月6日（日）研修会、私塾協同組合連合会、全日本学習塾連絡会議同時開催
（2）会場：ホテルグランドパレス「ダイヤモンドルーム」
（3）内容：詳細は11月中旬の第92回全日本学習塾連絡会議のご案内参照。

5　千葉学習塾協同組合（JAC）

1、スクールフェア2009
（1）日時：9月13日（日）12：00～16：30
（2）会場：三井ガーデンホテル船橋らぽーと
（3）参加者：1300名（私立中高130校参加）
（4）内容：学校別の説明会と個別相談会を同時開催

2、2009公立高校進学相談会
（1）日時：10月12日（月）12：00～15：30
（2）会場：千葉市民会館
（3）参加者：1200名
（4）内容：公立高校45校が参加する個別相談会

6　埼玉県私塾協同組合（SSK）

1、平成22年度「中学高校入試説明会」
（1）日時：9月27日（日）9：50～16：30
（2）会場：大宮ソニックシティ7F会議室
（3）参加者：私学60校、県立上位校8校が学習塾の先生方を対象としたユニークな入試説明会。学習塾の塾長、職員116名参加
（4）内容：4会場で1校20分ずつ、午前9時50分から午後4時20分まで同時開催

7　NPO法人　全国教育ボランティアの会

1、YDAS2009こども博覧会に参加出演（調布市）
（1）日時：11月1日（日）10：00～15：00
（2）会場：調布市立緑ヶ丘小学校
（3）参加者：例年1000名（子どもと保護者）市民団体41団体参加
（4）内容：ボランティアの会では、家庭科室でコンニャクを作り「でんがく」と「さしみコンニャク」を試食。例年200名が親子で参加しています。

8　大井町から教育を考える会

1、私立中高相談会
（1）日時：11月8日（日）13：45～320：00
相談会と懇親会を同日開催
（2）会場：きゅりあん7F（大井町）懇親会は「吉今」
（3）内容：私立学校の先生方と塾の先生方が共同作業で運営する会

私塾ネット短信

ご結婚おめでとうございます。私塾ネットエリア中部代表松本紀行先生ご長男松本歴先生・加奈様おめでとうございます。そして末永くお幸せに！！
（1）日時：平成21年9月13日（日）
（2）場所：ホテル諏訪湖の森（教会から四季亭まで車で移動）
（3）挙式と披露宴：
挙式は諏訪湖の森教会において「人前結婚式」というユニークな形式で行われました。当日は晴天に恵まれ二代目塾長となられる松本歴先生・加奈先生ご夫妻は、チャレンジ学院の教職員24名のほかお二人の大学時代のご友人多数に囲まれ、ライブ会場のような華やかさと、同時にアットホームな雰囲気の挙式と披露宴になりました。披露宴会場のホテル諏訪湖の森　四季亭は、峠の頂上にあり、諏訪湖が一望できるすばらしい会場でした。なお学習塾関係者はAJCの森貞孝先生、一橋大学名誉教授中嶋浩一先生、私塾ネットの原敏章先生と佐藤の4名のみで、その他は地域の有識者とご親戚を除くと、若者たちばかりの、それは元気の出る素晴しい結婚式でした。最後に松本紀行先生と歴先生の挨拶がありましたが、チャレンジ学院の親子の絆の深さと教職員への信頼感あふれる感動的なものでした。

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　石川維雪

秋の気配が徐々に深まっているこの頃ですが、皆さんお元気でしょうか？

私は母親がこの初夏にペースメーカーを埋め込む手術を受けまして、その予後が余りよくなかったこともあり、振り回されっぱなしの夏でした。お蔭様で9月下旬から大分落ち着き、今はかなり回復しておりまして健康を取り戻しつつあるようです。

そのような訳で9月中旬までは身動きがとれず、皆様にもご迷惑をおかけしました。

さて9月以降、事務局として以下の行事に参加しました。（●は私塾ネットの行事）

●9月6日(日)～7日(月)　エリア関東：宿泊旅行
○9月25日(金)　日本橋女学館：新校舎落成記念式典
●10月4日(日)～5日(月)　エリア四国：研修大会

それぞれの行事については各エリアから報告があると思いますが、それぞれ会員の皆さんの人柄が溢れる楽しい、また「ためになる」会でした。

10月以降も行事が目白押しです。

●10月25日(日)　札幌研修会（午後3時30分～　於：札幌進学教室）
○11月3日(火・祝)　塾全協：研修大会（京都）
○11月8日(日)　大井町から教育を考える会（OKK）：進学相談会
●11月15日(日)　エリア中国：音楽鑑賞の夕べ＋忘年会
●11月28日(土)・29日(日)　エリア東北：進学相談会（志学塾主催）
○12月6日(日)　東京私塾協同組合研修会＋塾団体合同忘年会

札幌研修会は「生徒父兄のモチベーションアップ」を主題に、カウンセリングとコーチングの実践例を研究します。その後は恒例となった食べ放題のおすし屋さん！

参加希望は数日前でも間に合いますので、希望者は事務局(石川)ないしは札幌進学教室(入江先生)までご一報ください。

エリア中国の会はちょっと変わったもので、研修などはなし。クラシックを鑑賞した後、忘年会という流れになるそうです。詳細は、栄光プレップの北川先生までお願いします。

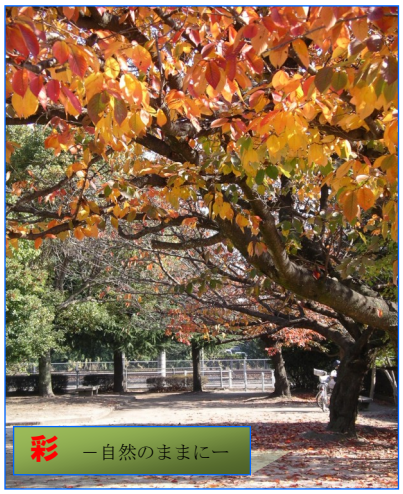
閑話休題

編集長　谷村志厚

民主党に政権が移行して一か月が経った。鳩山首相や閣僚の方々の動向が報道されるのを見聞きして、たいそう新鮮な印象を受ける。それだけ自民党の長期政権にあきあきしていたということであろう。新政権は掲げたマニフェストの達成にやっきだが、実現を急ぐあまり拙速にならぬようお気をつけいただきたいものだ◆ところで新政権の重要政策の中で我々の最大の関心事は高校無償化と子ども手当であろう。高校無償化は、現に高校生や受験生をかかえるご家庭にとっては大歓迎であろう。しかしながら我々は手放しで歓迎というわけにはいくまい。私立高校生にも援助が与えられるのだが、公立無料と私立有料というレッテルはあまりにも厳しい。ことに現在のような不景気風の吹きすさぶ時期にあっては、その足かせはあまりにも重いといえよう。ふたたび私学サバイバルの幕開けである◆そもそも民主党の政策目的では、「家庭の状況にかかわらず、全ての意思ある高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくる。」とある。ところがここで問題なのは「全ての意思ある高校生」である。無目的な高校進学が横行し、「意思のない高校生」の存在を多く見ている立場からすると、「意思のない生徒」へのばらまきなど不要だろう思えるのである。私学助成金の上乗せや所得に応じた奨学金制度など、意志のある公私生徒が平等な教育機会を享受できる施策を期待したいものだ◆今号から表紙のスタイル変えた。これまで長く俳句とPhotoで表紙を作ってきたが、俳句を誌上句会という形で投稿ページに独立させ、梶原先生に選句と句評をお願いすることにした。エリア中国の城先生のところにすばらしい写真がたくさんあるとの情報を聞き、前号でその一端を紹介させていただいた。そして今回から季節感のある表紙写真と、それにまつわるエッセイを最終面に配置することにした。ねらい通りのできばえに、編集担当者としてはひとり悦に入っている。

フォート・ほっとコラム

＜人にもそれぞれの彩あり＞



塾舎のすぐそばに小さな公園があります。この公園には数本の桜があり、それが毎年秋になると鮮やかに紅葉します。その紅葉の一枚一枚の彩の違いと美しさに自然の造形美のすばらしさに驚かされます。

われわれが日ごろ生活していく中で、他人を自分の色に染めようとし、上手くいかなくてストレスをためることがよくありますが、そんな時、価値観も考えも違う他人を自分の色一色に塗り変えてしまおうなどと考えないで、その人が持っている「彩」の美しさを生かすよう、そこにスポットライトを当ててみてはいかがでしょうか。

きっとその方が労力も少なく、ストレスも感じずに人を輝かせ、調和のある素敵な人間関係を構築できるのではないでしょうか。　（城　忠道　エリア中国・芸城学院）

「彩」－自然のままに－　少し肩の荷が下りませんか。

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校	村山ｻﾝﾄﾞﾗｰ先生	
東京都渋谷区本町3-2-2	TEL03-3376-2244	
江戸川学園取手中学高等学校	竹澤　賢司先生	
茨城県取手市西1-37-1	TEL0297-74-8771	
十文字中学高等学校	夘木　幸男先生	
東京都豊島区北大塚1-10-33	TEL03-3918-0511	
東洋高等学校	野間　一夫先生	
東京都千代田区三崎町1-4-16	TEL03-3291-3824	
桜丘中学高等学校	品田　健 先生	
東京都北区滝野川1-51-12	TEL03-3910-6161	
聖徳大学附属中高等学校	川並　芳純先生	
千葉県松戸市秋山600	TEL047-392-8111	
麹町学園女子中高等学校	大野　博人先生	
東京都千代田区麹町3-8	TEL03-3263-3014	
春日部共栄中学	宇野　禎弘先生	
埼玉県春日部市上大増新田213	TEL048-737-7611	
大成高等学校	森　　保　先生	
東京都三鷹市上連雀6-7-5	TEL0422-43-3196	
東京学園高等学校	須藤　勉　先生	
東京都目黒区下目黒6-12-25	TEL03-3711-6641	
東京立正中学高等学校	藤井　教戒先生	
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	TEL03-3312-1111	
八雲学園中学高等学校	横山　孝治先生	
東京都目黒区八雲　2-14-1	TEL03-3717-1196	
関東第一高等学校	副田　康孝先生	
東京都江戸川区松島2-10-11	TEL03-3653-1541	
武蔵野中学高等学校	丹野　秀彦先生	
東京都北区西ヶ原4-56-20	TEL03-3910-0151	
神田女学園中学高等学校	齋藤　元治先生	
東京都千代田区猿楽町2-3-6	TEL03-3291-2447	
和洋国府台女子中学高等学校	太田陽太郎先生	
千葉県市川市国分4-20-1	TEL047-371-1120	
東京文化中学高等学校	上前　善勝先生	
東京都中野区本町6-38-1	TEL03-3381-0196	
文京学院大学女子中学高等学校	嶋田　栄司先生	
東京都文京区本駒込6-18-3	TEL03-3946-5301	
京北学園中学高等学校	実方　隆志先生	
東京都文京区白山5-28-25	TEL03-3941-6253	
大森学園高等学校	河嶋　正　先生	
東京都大田区大森3-2-12	TEL03-3762-7336	
東京成徳大学中学高等学校	増澤　文徳先生	
東京都北区豊島8-26-9	TEL03-3911-2786	
日本工業大学駒場中学高等学校	河村　文夫先生	
東京都目黒区駒場1-35-32	TEL03-3467-2130	
青稜中学高等学校	笠松　芳幸先生	
東京都品川区二葉1-6-6	TEL03-3782-1502	
東京女子学園	実吉　幹夫先生	
東京都港区芝4-1-30	TEL03-3451-6523	
駒込中学高等学校	河合　孝允先生	
東京都文京区千駄木5-6-25	TEL03-3828-4141	
愛国中学高等学校	高橋　英夫先生	
東京都江戸川区西小岩5-7-1	TEL03-3658-4111	
日本橋女学館中学高等学校	羽田野　敦先生	
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6	TEL03-3662-2507	
安田学園中学高等学校	福谷　隆芳先生	
東京都墨田区横綱2-2-25	TEL03-3624-2666	
多摩大学目黒中学高等学校	福本　明男先生	
東京都目黒区下目黒4-10-24	TEL03-3714-2661	
科学技術学園高等学校	船津　和良先生	
東京都世田谷区成城1-11-1	TEL03-5494-7711	
日本音楽高等学校	中野　道代先生	
東京都品川区豊町2-16-12	TEL03-3786-1711	
立正中学高等学校	今田　正利先生	
東京都品川区大崎4-2-16	TEL03-3492-4416	
上野学園中学高等学校	高橋公美子先生	
東京都台東区東上野4-24-12	TEL03-3842-1021	
二松学舎大学付属高等学校	舘野　宏　先生	
東京都千代田区九段南2-1-32	TEL03-3261-9288	
村田女子高等学校 村田学園小石川女子中学校	武　雅祐先生	
東京都文京区本駒込2-29-1	TEL03-5940-4187	
自由学園（中等部・高等部）	椚田　結子先生	
東京都東久留米市学園町1-8-15	TEL042-422-3111	
帝京中学高等学校	奥野　英治先生	
東京都板橋区稲荷台27-1	TEL03-3963-4711	
京華学園	今野　巌　先生	
東京都文京区白山5-6-5	TEL03-3941-6493	
千代田女学園	菅原　俊軌先生	
東京都千代田区四番町11	TEL03-3263-6551	
(株)パイロットコーポレーション	辻　豊様	
東京都中央区京橋2-6-21	TEL03-3538-3782	
(株)教育企画ティーファイブ	山田　孝幸様	
東京都品川区北品川1-22-17-104	TEL03-5479-7061	
(株)創開コミュニティー	小林　和光様	
千葉県柏市柏2-7-22-202	TEL04-7164-6511	
ギガビジョン株式会社	櫻井　淳二様	
東京都千代田区九段北1-4-5	TEL03-3237-5861	